

戦争法廃止・原発再稼働NO!

日本共産党
松江市議団

松江市議会議員

片寄 直行

福島原発事故から5年。安全な原発などありえませんが、使用済み核燃料の再処理や処分の方針も決まっていないうち、再稼働など論外です。共産党議員団は再生可能エネルギーに切りかえる政治決断を求めています。

「活断層はない」として原発が建設されたものの、検討することに活断層は伸びているのが実態。地域の鳥取沖西部断層・鳥取沖東部断層が連動することが明らかになった以上、新第三紀の地層では繋がっている宍道断層との連動性を考えるのは当然。宍道断層の延伸の徹底調査と連動性の検討を求めています。



原子力規制庁へ要請する議員団

活断層の連続性・連動性の徹底調査を!



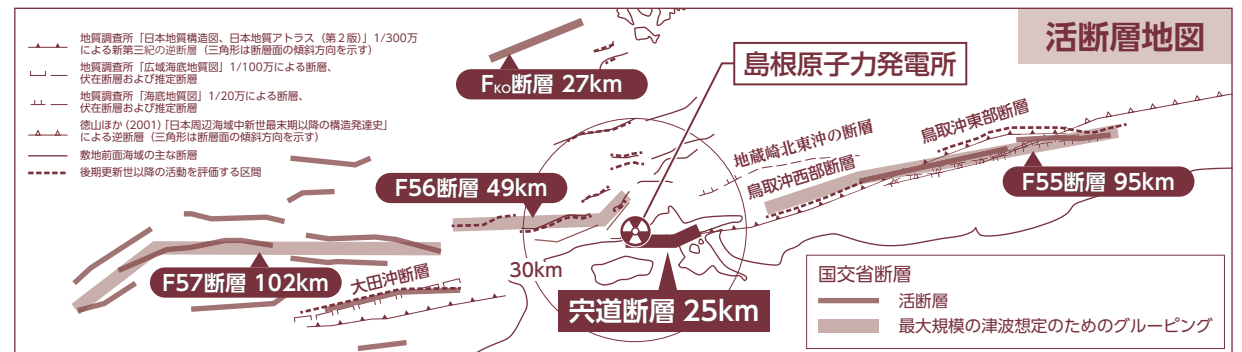
2月議会報告する市議団

松江市は「平和都市宣言」を行っています。戦争法について共産党議員団は、松浦正敬市長に対し、市民の生命と財産を守る最高責任者として、戦争法撤回を主張すべきと、議会の度に主張してきました。

松浦市長は「防衛や外交は、国の責任で行うべき」と答えています。美保基地は、世界中の戦争に巻き込まれる危険な窓口にもなりかねません。平和こそ大切、憲法9条守れと議会で訴えています。

「平和都市宣言」と戦争法は相容れない

活断層地図



中国電力株式会社「島根原子力発電所敷地周辺海域の活断層評価（『日本海における大規模地震に関する調査検討会報告書』を踏まえた活断層評価）」（平成27年11月20日）より抜粋、一部加筆

新しい松江 議会報告版 | 2016年春季号

発行 日本共産党松江市議会議員団
連絡先 〒690-0846 松江市末次町86松江市役所内
電話 0852-55-5440 (議員団代表=片寄直行)



市民の安心・安全、暮らしを守って



国保料の引き下げを！ 子どもの無保険状態を解消させる

高すぎる国保料。しかし、黒字分が5億8千万円も基金にため込まれています。国の支援を求め、基金の取り崩しや一般会計からの繰り出しによって国保料の引き下

げを求めました。保険料滞納世帯の子どもの保険証が数か月、市役所に留め置かれていましたが、今年4月からは解消させ、無保険状態をなくしました。

海岸の岩で活断層の時代背景がわかる

活断層の専門家を招いて学習・研修会を実施。島根半島に分布する重力異常図の解明を行い、宍道断層の東端が美保関町下宇部尾よりさらに東に延びる可能性を学び

議会論戦にいかしました。また島根原発周辺の海岸の波食棚や海食崖を現地調査。これらは断層性隆起の証拠となることが明らかとなりました。

非正規雇用市職員の改善を

市職員の構成は正職員1575人、非正規職員は1197人となっています。非正規職員は年収200万円以下のワーキングプアと呼ばれる階層です。指定管理制度で

の保育所職員の処遇も劣悪です。行財政改革で年齢構成も歪いびつになっており、必要な職員は増やすこと、同一労働同一賃金で非正規雇用の処遇改善を求めています。

高すぎる水道料 負担軽減を国へも要請

松江市の水道料は平成27年一月から引き上げ、旧町村地域の簡易水道は平成23年から25年にかけて引き上げられています。平成29年度からの簡易水道と上水道の統合で再度の引き上げが検討されています

ます。尾原ダムからの受水のうち3割の使われない水代まで市民負担となっていることを改善させるため島根県や国に対しても対策を求めています。

中海の自然再生で、地域振興を

ラムサール条約締結10年。中海での赤貝復活は明るい情報ですが、全体の漁獲高は439トン（10年前）が120トン（2014年）と大幅に減少。森山堤防の60m開

削程度では不十分です。水質の改善や漁業の復活、中海と周辺地域の振興のために、行政や学者、研究者、漁業者などで本格的シンポジウムを開くよう求めています。

「子育て日本一」にふさわしい施策を

現在、小学校卒業までの子どもの医療費無料化について、国の制度として拡充を求めるとともに、市独自の制度として中学校卒業まで実施するように主張しています。要求してきた、婚姻歴のない一人

親に保育料のみなし寡婦控除適用について、市は前向きに検討すると約束しました。保育から子どもの貧困対策、子ども一人ひとりを大切にした教育など、安心の子育てのために声を届けます。

拡がる子どもの医療費無料化

● 中学校卒業まで無料

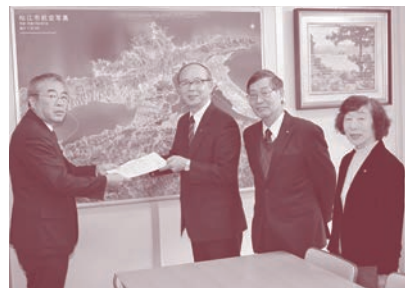
大田市、雲南市、安来市（平成28年4月実施予定）、奥出雲町、飯南町、美郷町、邑南町、津和野町、西ノ島町、知夫村

島根県下の状況

吉賀町は高校卒業まで無料化実施



自然再生に取り組む中海の現状を枕木山から視察



平成28年度に向けて、41項目の市民の願いを予算要望



福島原発の現状と課題を調査。福島第一原発を後方に望む



専門家を招き、島根原発や島根半島の活断層、地質を調査



女性議員の会で、子育てで頑張る兵庫県明石市を訪問し研修